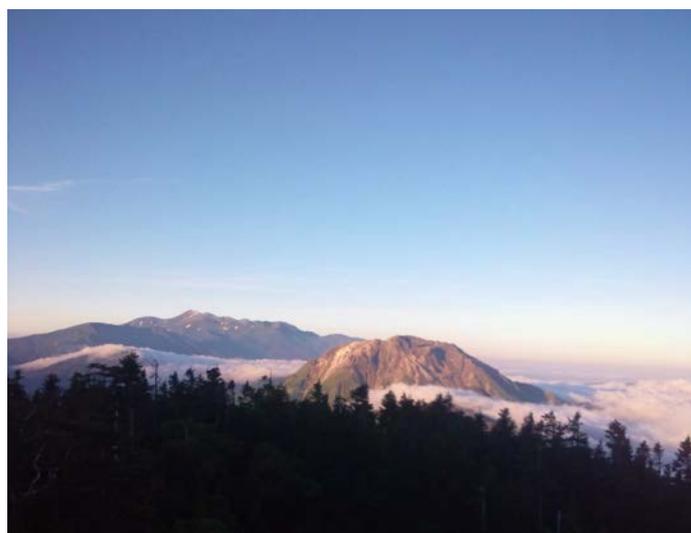


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2018年 8月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2018年 8月1日発行 通巻304号

準備万端

夏山を楽しもう！

8月号目次

・ 目次	2
・ 第2回ハイキング委員会報告	3
・ ふれあいハイク案内	4
・ 県連統一クリーンハイク報告	5
・ 房総「花・鳥・ヒル」現状報告	7
・ 県連海外委員会たより	8
・ 山行報告「栗駒山」	9
・ 「西穂山荘」	12
・ 全国登山研究集会案内	13
・ 全国ハイキング集会案内	15
・ リニア新幹線凍結と見直しを求める運動	18
・ 県連たより	19
・ 8月9月予定表	20

西穂高岳からの絶景

あじさい山の会の皆さんに、憧れの北アルプス・西穂高岳の山行報告をお願いしました。

住まいが匝瑳市で、公共交通機関を利用しての山行には厳しいと思います。近場の日帰りハイキングや小屋泊一泊山行を中心に、計画書作成、入・下山連絡等の山行管理もしっかり実行して楽しんでいます。

理事会や委員会等、平日の行事への出席は厳しいですが、県連活動には前向きに協力をいただいています。

——編集者——

2018年度 第2回ハイキング委員会 2018年7月17日(火)

出席者 桑原、小山、深草、羽鳥、八巻、伊藤、(中山)、田中、山内、松宮、 10名

議題

1) 第35回 房総ロングハイキング

2019年1月26日(土)、27日(日) 七里川温泉予約済

コース リタイヤした後半(清澄山駐車場～一杯水林道～ツクバネ樫～東大演習林
～向峰コース～烏帽子山～鶏毛山～坂本駐車場)に決定

36回からコースの変更あり。

新コース 下見山行 10月以降 次回決定

案1 七里川温泉～石尊山～横尾(お地藏さん)～坂畑～亀山駅

※ 東葛地区 前日のコースを考える

案1、高滝湖周辺の名所(高滝神社、波の伊八彫刻等)～永昌寺トンネル～
田淵地磁気逆転地層(チバニアン)～養老溪谷～七里川温泉

2) ウィークデー山行

※ 次回の山行考える。 2019年4月以降

案1、清和県民の森近辺、クマガイ草自生地その他花散策。4月中旬(田中)

案2、^{かなりさん}神成山(群馬:富岡)具体的に研究してから決定する。バス (深草)

案3、日光高山(栃木) 々 バス (深草)

案4、吾国愛宕ハイキングコース(茨城) 々 JR又はバス (羽鳥)

その他 色々出ましたが上記で進めて決定する。

3) ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル(山への想い) 雑感

9月松宮、10月羽鳥、11月深草、12月山内、1月伊藤、2月小山、3月中原、4月田中、
5月八巻、6月桑原、

※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。

暫く途切れている様です。どんな事でも良いので投稿お願いします。

その他

※次期役員選出の件、委員長も高齢で引退の時期が来ています。早急に決定したい。

※第3回 「山の日」記念全国大会 (鳥取県・大山町) 8月10日、11日

※全国ハイキング交流集会 IN伊豆:長岡温泉 9月15日～16日 参加募集

※ふれあいハイキング 2018年9月30日(日) 三浦半島 大楠山 決定

当日の参加ご協力お願いします。

次回委員会

2018年 9月 11日(火) 18:00～20:00

県連事務所

第17回ふれあいハイイク参加者募集

2018年度ふれあいハイイクの年になりました、今回は県内を離れて、東京湾をアクアラインを観光バスで走って、「三浦半島 241mの大楠山」に登ります。

県連、会員の皆様よろしくお祈いします。



- ・日 程・2018年9月30日(日)
- ・場 所・神奈川県三浦半島 大楠山(241m)
- ・集合場所・千葉駅 NTT前 8:00集合 出発8:20
・東葛地区 鎌ヶ谷市役所駐車場 出発 7:00
- ・ファミリーマートFC横須賀芦名店駐車場(大楠山登山口) 10:00集合
- ・参加費 4500円
- ・大型観光バス 3台(大型リフト車1台、1台は鎌ヶ谷市役所駐車場配車)
- ・【コース】
 - ・NTT前8:20—松ヶ丘I—市原SA(休憩10分)—木更津JCT—東京湾アクアライン—川崎浮島JCT—横浜ベイブリッジ—並木IC—横浜・横須賀道路—衣笠IC—横須賀PA(休憩10分)—三浦縦貫道路—林交差点—大楠山登山口交差点—大楠山登山口(ファミリーマートFC横須賀芦名店駐車場) 10:00/10:30…1:20…NTT無線中継所…0:10…電波塔…0:05…桜山(昼食・交流会 1:40)…1:30…大楠山登山口着
 - ・大楠山登山口出発(ファミリーマートFC横須賀芦名店駐車場 15:00—林交差点—横浜・横須賀道路—衣笠IC—横須賀PA—浮島JCT—海ほたる(20分休憩)—木更津JCT—松ヶ丘IC—千葉駅NTT前 17:30(予定)解散
- ・申込締切日 8月末日

- ・県連各会は、参加者を各会でまとめて、下記に連絡をお願いします。
- ・申込先 岡田正勝(千葉こまくさハイキングクラブ)
P Cメール iwakagami412@jcom.zaq.ne.jp
- ・車いす担当会は、
受け持ち台数・必要装備については、9月理事会でお願いをします。



2018年度 県連統一クリーンハイク実施報告

千葉県連自然保護委員長 菅井 修 (ちば山の会)

- ・【実施日】 6月2日(土)
- ・【実施場所】 鴨川市・金山ダム周辺
- ・【参加会・人数者】 7会 29名
(・ちば山の会6名・千葉こまくさHC4名・ふわくHC7名
・松戸山の会5名・まつど山翠会1名・君津ケルン山の会3名
・まつど遠足クラブ1年さくら組2名)
- ・【回収ゴミ重量】

ダム右岸(元清澄方面)	7kg
左岸	120kg
計	127kg
- ・【報告】

9:30 寺の駐車場に集合 (寺管理者の好意で駐車場を借りる事が出来た)

9:30~11:30 クリーンハイク実施

金山ダムの両岸を分担して清掃を実施した。

こまくさHC・まつど山翠会5名で右岸・その他23名で左岸を実施した。

・【参加者の感想】

右岸コース：ダムに沿っての道は涼しく対岸に釣り人の姿を垣間見ながら登山道入り口までを実施した。特にゴミが多いという印象は無かったが、集中した場所に缶や瓶、弁当の空の入ったレジ袋が散乱している場所があった。中身が入った瓶やペットボトルが数個あった。

ゴミ袋6袋 約7kgのゴミを回収した。

左コース：入口付近のゴミは少なかったが、奥に入ると道路から少し下には大量の古い生活ゴミと思われる瓶や缶が散乱していた。このような場所が数カ所あった。中には車上から捨てた形跡の所もあり、それらを引き上げ道の脇に置き、鴨川市に回収を依頼した。釣り人やハイカーのマナーもあるが、同時に古タイヤ等の生活ゴミの不法投棄も大きな問題だと思った。回収ゴミの量は120kg。



◆ 鴨川メガソーラー建設反対の中止を求める会よりの現地報告

代表 今西氏の講話

・ 昼食後 1:30-12:10

寺の本堂前で「鴨川メガソーラー建設反対の中止を求める会」代表今西氏の報告を



聞く。脱原発の自然エネルギーへの変換が叫ばれている今、ソーラー発電と言うと自然に良いものに聞こえる。しかし、豊かで広大な森林を破壊し建設した場合、森林は決して元には戻らない。そして、山地を削り谷を埋めて元々不安定な房総の山地にメガソーラを建設する事は、自然破壊であると、同時に近隣住民の生活、漁民の生活にも大きな影響が出る事も報告された。

本堂前で、地図を広げて広大な建設予定地を説明を受け

・ 参加者の感想 千葉こまくさハイキングクラブ 栗屋隆子

20年間の使用期間のために、この様な計画を立てる事は、県としては絶対に許してはいけないことだと思いました。自然エネルギーと称して、木を伐採して山や谷を破壊することは本末転倒です。



建設予定地・後方の緑豊かな山林が伐採され整地される。

今、全国的にメガソーラ（大規模太陽光発電所）建設計画が問題になっている。脱原発と省エネとして、家庭の屋根に設置する小型ソーラから始まり、数万枚のソーラパネルを広大な土地に設置するメガソーラの建設計画が報告されている。メガソーラ建設の問題点は、豊かな森林を伐採し急斜面を削り取った土砂で谷を埋めて設置場所を確保する事である。千葉県でも、閉鎖したゴルフ場や山砂採集のあと地、休耕田への設置が急激に増えています。しかし一方では、森林を伐採して山や谷を整地して設置する計画が自然破壊として問題になっています。

豊かな山林が無くなる事だけでなく、住民の生活用水の汚染、河川から流れ込む泥水や砂による近海漁業への影響が大きな問題となっている。

「メガソーラ建設から、房総の自然を守る」運動に参加しよう！！

房総 花・ヒル・鳥

田中 康雄(ふわくハイキングサークル)

クマガイ草、ふわくのKさんは刈払機で除草すると・・・。
私は初めてクマガイ草の花を見たのでうれしくて、みなさんを案内しました。その勢いで、エビネがたくさん群生していた所も、リクエストあり案内しようと下見、100本は有ったのが数本しかなく中止、
そういえば、2年ぐらいで100本のエビネが出現した記憶がある。ただ、私が一番きれいだと思うエビネは、1～2年消えていたが小さな葉っぱが出ていました。

又、何年かに一度、ウラジロの葉がうまく育たなかった年は、昔の道を見つけるチャンスと、自分で言っていました。

鴨川市^{ほだい}保台古道、その昔「遠沢林道」と言っていて、ヒルの大生息地。稜線を挟んで反対側のキンダン沢も大生息地。過去に「全速力で私に向かってくるヒル達を撮影するぞー。」と、行動した事有り。今年の私もどこか変で、行動しました。

わたくしなりに万全を期して、かつ時期は最悪の梅雨(今年は早く明けたが)6月30日に二度目のトライで、沢に足を踏み入れました。が、なんと、ヒルには全く会うことが出来ず、動画撮影もしたいと宣言していたのに・・・。

ヒメハルゼミ、ふくろう一羽、やまかがし一匹、トンネルには冬会うことが出来なかった蝙蝠多数、パラパラ糞をかけられたと思っています。

鋸山 安兵衛井戸コース。昨年、北アルプスに行くメンバーのトレーニングを兼ねて登山、猛暑の中、何とか登りました。今年はEさんのリハビリを兼ねて、7月17日登山、サンコウチョウの鳴き声を教えていただきました。

風倒木が多いので、20日にチェーンソーを持って道普請、倒れた木の方が処理がむずかしいのだが、泥にまみれ無難にこなしたと思ったのだが。力尽きていたようで、東の肩まで後ろから引っ張られている感じになり、かろうじて登った。

猛暑なのに、稜線の木陰の岩は、苔むしていて、見たことのない綺麗さ。海から発生する霧が水分を供給していたようだ。

三光鳥(サンコウチョウ)は「月日星 ホイホイホイ」と鳴くそうで、20日も鳴き真似をした所、口笛を吹くように音を出すと、うまく表現できました。

花もヒルも鳥もホイホイホイ 移ろうかもしれないが、夏は探鳥会がおすすめ!

海外委員会だより

1) タイ「チェンダオ山」登頂と世界遺産「アユタヤ」・バンコク市内観光

7月28日（土）時点での参加希望者は、1名増えて『23名（9会）』になりました。参加者（男性11名、女性12名）の内訳は、次の通りです。

東葛山の会9名(+1)、千葉こまくさハイキングクラブ6名、松戸山の会2名、かがりび山の会1名、松戸遠足クラブ1年さくら組1名、ちば山の会1名山の会らんたん1名、茂原道標山の会1名、ふわくハイキングサークル1名
既に、航空券往復（成田～バンコク～チェンマイ）を手配し、旅行会社と現地での具体的な日程や旅行代金等の再確認を進めています。詳細が決まり次第、参加者にはメールにてお知らせします。8月中には、お知らせできると思います。

チェンダオ山やインタノン山の登山地図を探していますが、残念ながら見つかっていません。どなたか情報をお持ちの方はいませんか？

2) 海外登山活動に関するアンケート調査締切延期！

『海外登山活動に関するアンケート調査』を実施中です。

7月28日（土）時点で、7会（67件）の回答が、メールや文書で届いています。ご協力ありがとうございます。

しかし、アンケートの回収数としては、少ないと考えています。締切日を延長しますので、海外登山経験のあるなしに関係なく、アンケート調査にご協力をお願いします。少なくとも、県連登録会員数754名（2017年11月末）の10%を超える『80件』は欲しいですね。集計作業に悲鳴を上げるほどの多くの回答をお待ちしています。

★提出期限：8月18日（土） 締切日延長（早ければ早いほど望ましいです！）

3) 「海外委員会」の「委員」または「連絡窓口担当者」募集！

今回のアンケート調査実施結果の分析、今後の海外登山の実施、及び、海外登山全般に関する情報交換等を行うために、各会から少なくとも1名を『委員』として登録していただきたいと思います。委員が難しいようでしたら、会の窓口担当者でも構いません。

まずは、委員（窓口担当者）間でのメール情報交換を進めたいと考えています。

<問合せ先> 安彦秀夫（東葛山の会）E-メール：mt25hm4abichan49@gmail.com
ご連絡をお待ちしております！

栗駒山行報告

宮城労山主幹 2018年全国登山祭典

報告者 寺崎 眞理 (ちば山の会)

【実施日】2018年6月16日(土)17日(日)

【参加者】東葛山の会・羽鳥、ふわくHC・太田・鈴木 ちば山の会・菅井・寺崎

【参加総数】80名

【16日の集会報告】

宮城、岩手の労山等約50名が参加。千葉県からは5名がホテル「ハイルザーム栗駒」に集結した。2日目の目的の登山もさることながら1日目の話はショッキングなものだった。

「岩手・宮城内陸地震」 ホテルの総支配人の体験談

10年前の2008年6月14日8時43分、マグニチュード7.2のが「岩手・宮城内陸地震」が発生した。その日は夜の勤務を終え、朝自宅に帰ろうと山道を走っていると、ぐらっと振れを感じたら、目の前にとてつもない大きな岩が落ちてきた。危ない！と思ってバックしようとバックミラー見たら後ろに道がない。さすがの四駆も前にも後ろにも行けず、このままだと潰されると思い道路下が河川敷になっていたのので、駆け下りた。何がどうなっているのか全く情報がないまま、救助されるまで一人で2時間半その場にいた。そのうち、自衛隊のヘリが何機もやってきて飛び回り、やっと見つけてもらい、ホーバリングするヘリの中から隊員がロープを伝わって降りてきて自分を引き上げてくれた。自分が一番始めに救助された者かもしれない。

自分の生還は奇跡だった。周りもそう思ったに違いない。「生かされたのだから、何かしなさい」ということなのだ。これからは、そのように生きていくと決心した。ニュースで繰り返し放映され7人の犠牲者を出した「駒の湯温泉」は、再開願いの声が多く、日帰り温泉として出発していた。

その他

東日本大地震・大津波からの復興状況も報告された。

参加者の体験

17日当日石巻市から参加したその女性は「チリ津波」「岩手・宮城内陸地震」を体験し、「東日本大地震」では母親や多くの親戚・友人を亡くされたそう。「自分だけじゃない。みんなそうだ。」とおっしゃった。体調が思わしくなかったお母さんは暖房が全くない避難所で、寒さのために肺炎を起こされ亡くなられた。届き始めた避難物資はパンばかり。始めのうちはうれしいが、それがずっと続くとさすがに食傷。必要と思うものはなかなか手に入らず、避難所視察の議員たちは一部の順調に進んでいる所しか視察せず、いろんなものが足りなくて困っている多くの避難所には足を向けなかった。兎も角、避難先で一番嬉しかったのは、自衛隊のお風呂サービス。2週間ぶりだった。復興しているとは言うものの、内情は違う。

17日は慰霊も兼ねて地元の栗原市でも、大規模な避難訓練が行われた。

【17日栗駒山登山】

17日当日だけの参加者を含め総勢80余名が四つのコースに分かれて栗駒登山。

ちば山が参加した裏掛コースを報告する

宿8:00→裏掛登山口8:30→10:45崩壊地(1330m)→笹森分岐上11:50→12:50山頂13:30
→中央コース→14:40いわかがみ平15:00→15:10宿16:00→千葉

辛い話の中でも、目的だった栗駒山登山では兎も角高山植物の豊富なことと言ったらない。あいにくの霧がたち込めた山行だったが、サラサドウダンのトンネル、足下にはマイズルソウ、チゴユリ、イワカガミ、イワイチョウ、ゴゼンタシバナ、ムシトリスミレ、コバイケイソウなどいろいろな植物が競って咲き誇るのを愛で、5つも6つも雪渓を越えてルンルン気分で歩いていると、稜線下のかなり長い距離が大きくえぐれ、赤茶けた地層が露出しており、もの凄く大きな岩がごろごろしていた。ここが総支配人を襲おうとした岩々が崩れ始めたところだった。周りの緑の中で異様な光景だった。

その後もいくつかの雪渓を越えて頂上を目指した



サラサドウダンツツジ



マイズルソウ



崩壊地



イワカガミ



ムシトリスミレ



ハクサンチドリ



末端が崖状の雪渓



ヒナザクラ



下山路の中央コースは、最短コースだが上部は階段、その下は丸石をコンクリで固めた固い歩きにくい道で閉口した。栗駒山は素晴らしい山だったが、その裏にいろいろな話が隠されており、これまでとは違った山になった。

西穂岳山行報告（西穂山荘まで）

佐藤 光子（あじさい山の会）

7月21日・22日に西穂山荘までの山旅に行ってきました。
八日市場から、7時間以上乗物をのりついで新穂高ロープウェイ駅に到着した。
暑さのなか、14時から登り始める。
下山の人が多く待つことがありましたが、体調不良者がでて梅肉エキスをもらって
食べたら頭がスッキリし何とか無事に西穂山荘に到着した。
夜遅くまで暑くて眠れず、外にでたら満天の星空で感激しました。身体も冷えたので
やっと眠りにつけた。
山の朝は早く、睡眠不足ですが山荘からの展望を目に焼き付けて下山開始する。
4歳 6歳 7歳の元気な子供たちがスタスタと降りるのを見ながら、私達はストック
を使い慎重に降りました。
日頃の鍛錬不足を痛感した山登りでした。



千葉県連加盟会代表者 様

千葉県勤労者山岳連盟
会 長 広木 国昭

第17回全国登山研究集会 in 愛知の開催について

日頃 千葉県連盟活動に参加・級力をいただき有難うございます。
千葉県連では、定時総会で提起しました幾つかの課題を解決し、次世代に引き継げる組織づくりに取り組んでいます。なかでも、・欠員役員の選出・委員会の活性化・ちばニュースの刷新を最重点に、理事会が中心になり活動しています。つきましては、会代表者、会員の皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

さて、全国連盟は下記要綱により「全国登山研究集会」を、愛知県で開催することになりました。「全国登山研究集会」の実施目的は、労山組織の現状を見直し、登山本来の目的を達成し多くの仲間を迎える事です。これは、千葉県連が実施しようとしている事、実施しなくてはならない事とまったく同じです。千葉県連から多数の参加者を送り全国の仲間と交流しその経験に学びたいと思います。

つきましては、下記のとおりご案内をいたします。各会に置かれましては、会員の皆様に呼びかけて多数の参加をお願いします。

また、この集会では、実践・研究レポートを募集しています。千葉県連からも多数の提出をお願いいたします。

実 施 要 綱

テーマ 誰もが登山できる喜びを広げ、登山文化と労山運動を次世代に継承し発展させよう！

目 的

労山は、登山・ハイキングの素晴らしさを多くの人々に健康で文化的なスポーツ・レクリエーションとして普及・発展をめざし、労山運動を行ってきた。

いま、多様に発展した労山の登山活動で、遭難事故を防ぐ登山技術の継承や、会員の楽しい活動で、若者や未組織登山者のさまざまな登山要求に応えていくことが求められている。会員の情熱とエネルギーが、そうしたことに向けて発揮されるならば、労山はさらに大きく発展することができる。

そこでこの集会では、①会員誰もが登山できる喜びが得られる仲間づくりを目指す、組織の拡大・強化、②遭難事故のない登山を追求し、それを実現する登山技術と登山文化の継承、③登山者の多様な登山要求に応える活動などについて、全国各地の会・クラブや地方連盟の日頃の優れた実践と成果を交流・共有し、今後の労山運動の発展につなげる集会とする。

この集会に多くの労山会員、全国の登山の発展に尽くされている登山愛好者の参加を、心より呼びかけるものです。

・ご意見・問い合わせは 千葉県連会長 広木 国昭までお願いします。

記

- 期 日 2018年11月23日(金・祝日)～24日(土)
- 会 場 愛知県民の森 モリトピア愛知(宿泊施設名) 愛知県新城市
- 参加対象 労山会員および全国の登山者
- 主 催 日本勤労者山岳連盟
- 主 管 全国登山研究集会実行委員会・愛知県勤労者山岳連盟
- ・日 程
- 23日 12:30 受付開始
- 13:00 開会あいさつ
日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ
- 13:10～ 記念講演「K2からシリアへ」
—8000mのビバークから見えてきたもの—
講師：小松 由佳 氏(登山家・写真家・労山カレンダー選考委員)
1982年秋田県生まれ。2006年、“世界で最も困難な山”
世界第二の高峰K2(8611m)に日本人女性として初めて登頂。人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅するうちフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦取材し、シリア難民の今を伝える活動を行う。
- 14:30～ 休憩
- 14:50～ 基調報告
・集会の意義目的と組織強化拡大・次世代育成について
- 15:50～ 活動報告 連盟及び加盟団体の活動：6団体程度予定
・会クラブの組織強化・次世代育成など優れて実践経験
- 18:00 第1日目閉会
- 18:30～ 夕食・交流会 20:30～宿泊施設で各自交流
- 24日 7:00～8:00 朝食
- 8:30～11:30 分科会
- 11:30～12:00 全体でまとめ集会・解散
- 分科会
- 1 「労山の組織強化・拡大、次世代育成」
 - 2 「登山のための筋力維持と強化」
 - 3 「安全登山」
 - 4 「若い世代の交流」
 - 5 「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」
—リニア新幹線による南アルプス等の自然破壊の実態等—
- 参加費用 一泊二食での参加 8,500円
※日帰り参加一日も二日も 500円(資料代)
- 宿 泊 愛知県民の森 モリトピア愛知
- 問合せ先 労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
FAX 03-3260-6331 E-mail jwaf@jwaf.jp
- レポート提出 9月30日(日)迄
- 参加申込締切 10月25日(木) 別紙申込書にて全国連盟事務局まで

第21回 全国ハイキング交流集会 in 伊豆長岡 (2018年)

- ・日時 2018年9月15日(土) 13:00~16日(日) 10:30
15日 記念講演、分科会、交流会
16日 分科会、交流ハイキング(4コース)
- ・会場 静岡県 伊豆長岡温泉・いづみ荘
- ・参加費 11,000円 日帰り参加1,000円
(日帰りで夕食交流会参加希望者は、別に実費をいただきます)
- ・交通 伊豆長岡鉄道・伊豆長岡駅よりバス6分 送迎バスあり
- ・主催 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会
- ・主管 静岡県勤労者山岳連盟
- ・日程 15日(土)

各自、昼食をすませて現地集合

12:30 受付開始

13:00 開会

13:05~13:20 基調提起(石川委員長)

13:30~15:00 記念講演 「火山の恵みとその危険性」

講師 島村英紀先生(地球物理学者、元・北海道大学教授)

15:15~17:30 分散会討論

17:30~18:30 入浴

18:30~20:00 夕食交流会 その後、部屋で懇親会

16日(日)

8:30~10:10 分散会討論(つづき)

10:15~10:30 全体会で閉会式

11:00~交流ハイキング 4コース

①葛城山(かつらぎやま)452m

②大仁城山(おおひと じょうやま)342m

③歴史ハイク(韮山周辺 伊豆HCの仲間がご案内します)

④ジオハイク(丹那断層など 伊豆HCの仲間がご案内します)

募集 100名(宿泊60名、日帰り40名)

申し込み 参加申込書を労山全国連盟事務局に、

郵送、FAX、メール等でご送付ください。

参加費振り込み先は、申込書受付後、ご案内します。

問い合わせ 全国連盟03-3260-6331 ハイキング委員会まで

第21回

全国ハイキング交流集会

まだまだ申込
受付中だよ



★日時 9月15日(土) 13:00
～16日(日) 10:30
★会場 静岡県・伊豆長岡温泉
元湯・いづみ荘旅館
静岡県伊豆の国市長岡1045-1

裏面に申し込み書

★参加費 11,000
日帰り参加は1,000円
(夕食交流会参加希望者は別途、
実費をいただきます)

★集会内容
各地のハイキング活動の報告
を受け、交流する

★募集 100名

※交通
東海道新幹線・三島
駅で伊豆箱根鉄道線に
乗り換えて約20分 伊
豆長岡駅下車

駅前より送迎バスを11:50 12:
20に配車
それ以外は温泉場上バス停
通る路線バスで同バス停 徒
歩0分

記念講演 『火山の恵みとその危険性』 島村英紀先生(地球物理学者、元北海道大学教授)

4年前、岐阜市で開いた全国ハイキング
交流集会の当日、木曾御嶽山が突然噴火し
て多数の犠牲者が出ました。今年も草津白
根山が噴火しています。火山は、美しい山
の姿や豊富な温泉の恵みを与えてくれます
が、危険な存在です。そんな火山の知識を
深め、どう対処すべきかを学びましょう。



いづみ荘

武者小路実篤先生
ゆかりの宿

日本を代表する作家の一人・武者小路実
篤。昭和元年に「長岡温泉1号」に立ち寄
られてから20年間、1年の半分を当荘で
過ごされました。
昭和の文豪が見た景色を、体感してみて
はいかがでしょうか。

- 1日目 分散会、
夕食交流会
 - 2日目 分散会終了後、
4コースに分かれて
交流ハイキング
(希望者のみ)
- ①葛城山 ②大仁城山
③葦山・歴史ハイク
④丹那断層に大地の活動
の痕跡 - ジオハイク
(③④は解説付き)

主催: 日本勤労者山岳連盟(ハイキング委員会)
主管: 静岡県勤労者山岳連盟

交流ハイキング・コース案内

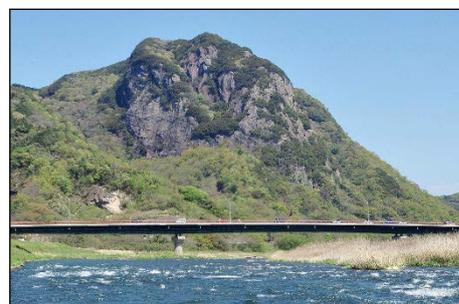
コース① 葛城山(かつらぎやま) 45m

長岡温泉街のすぐ南にある小さな山ですが、富士山をはじめ、狩野川(かのがわ)の流域など、頂上からは大展望が楽しめます。



コース② 城山(じょうやま) 342m

葛城山の隣にあり、南面の切り立った岩壁ではロッククライミングが行われます。「しろやま」ではなく「じょうやま」と読みます。



コース③ 萑山(にらやま)・歴史ハイク

幕末、反射炉が建設されて、大砲を鑄造した遺跡は、世界文化遺産にも登録されました。

伊豆ハイキングクラブの会員がご案内します。入場料 500 円が必要。

コース④ ジオハイカー丹那断層に大地の活動の痕跡を見る

会場からマイクロバスで北伊豆・丹那盆地に移動し、火雷神社で 1930 年の北伊豆地震で発生した断層による地面の食い違いを見学。さらに、近くの玄岳(くろだけ 798m)にも足を延ばします。伊豆ハイキングクラブの会員がご案内します。



参加申し込み・問い合わせ：全国連盟ハイキング委員会

・全国連盟事務局 Eメール jwaf@jwaf.jp

電話 03-3260-6331)

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

リニア新幹線建設で南アルプスを壊さない署名運動は
継続して取り組んでいます。

リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さないください

南アルプスは、日本を代表する優れた自然の風景地として国立公園に指定され、「ユネスコエコパーク＝生物圏保存地域」に国内で6番目に登録されています。JR東海は自然豊かな山岳地帯を、トンネルで貫通させるリニア新幹線の建設を推し進めています。

リニア新幹線計画は、山梨県、長野県、静岡県にまたがる南アルプスの山岳地帯で中央構造線をはじめ、無数の活断層の中を横切ります。ここは、年間4^ミもの隆起を続けていて、稜線から1400メートルの下にトンネルを貫通させることは、安全対策上の面からも専門家から危惧する声があげられています。

南アルプスは、貴重な山岳自然の宝庫ともいえる場所であり、日本の国土の生物多様性を支える、いわば屋台骨としての役割を果たしている大井川源流の山岳地帯です。この地域がトンネル掘削工事に伴う河川への減水（大井川水系では毎秒2^ト）、トンネル掘削によって排出される残土処理、10数年以上にも及ぶ工事の騒音、工事のための作業員700名が常駐する宿舎が建てられる問題等、工事に伴う南アルプスの自然環境への影響は計り知れないものがあります。

リニア新幹線計画は、日本のなかでも貴重で豊かな山岳自然を破壊する行為につながると同時に、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことにもなり、国民的な議論が必要なものです。

日本勤労者山岳連盟は、山岳自然との共生を求めていくために独自に「労山自然保護憲章」を制定し、「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努める」ことを掲げ活動しています。その理念や観点に基づき下記の事項について要請します。

記

- 1、南アルプスの自然環境保全と沿線住民の生活環境の保全などの立場から、リニア新幹線計画の凍結、見直しを求めます。
- 2、リニア新幹線計画は、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことから、凍結・見直しを求めます。

年 月

〈取扱い団体〉 日本勤労者山岳連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
E-mail jwaf@jwaf.jp

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎ 県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL・FAX： 043-306-1190

Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分

（県連事務所に常駐者はいません）

ご意見・問い合わせは、下記をお願いします。

- ・千葉県連ホームページ：

事務局への問い合わせ

- ・Eメール：dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール：教遭委員長・伊東 春正

：itou2385@yahoo.co.jp

FAX：教遭副委員長・広川 登志男

：043-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール：jwaf@jwaf.jp

FAX：03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎ 「ちばニュース」

・原稿送付先

・ご意見・問い合わせ は

発行責任者：広木 国昭まで

dabphiro@zpost.plala.or.jp

◎ NPO法人「ちば労山ゆう」は

解散しました。その後を受けて、

支援活動は千葉県連が窓口になり

受け継いで行きます。

支援活動は、各会で計画・実施を

お願いします。

（事前に一報をお願いします）

支援海産物の販売は、

今まで通り実施しています。

被災地への思いを忘れずに

出来る時に

出来る人が

出来る事を

【編集後記】

- ・「ちばニュース」交流会について。

8月30日（木）19時より・船橋市西部公民館で実施します。

「ちばニュース」について、感じている事、こんな事を紹介したい、してほしい等の意見や要望を持ち寄って下さい。

会としての意見、個人の意見を聞かせて下さい。

- ・9月号に、沢山の夏山報告を掲載したいと思います。

会山行・個人山行・ハイキングから縦走・岩・沢・ジャンルは問いません。

写真を2・3枚付けてもらえれば助かります。

- ・「福島の子供たちと夏休み」カンパのご協力ありがとうございます。

おかげ様で、楽しい夏休みをプレゼントする事が出来ました。

詳細については、次号で報告をします。

- ・8月から9月・10月にかけて、県連行事・全国行事が続きます。日程を調整してどれか一つでも参加して下さい。参加すれば、それなりに何かを得る事が出来ると思います。

県連活動予定表

9		行事予定	8		行事予定	
1	土	関プロ自然交流集会	1	水		
2	日		2	木		
3	月	県連役員会	3	金	県連活動はお休みします 山行で気分転換をして、9月から頑張ります	
4	火		4	土		
5	水		5	日		
6	木		6	月		
7	金		7	火		
8	土		8	水		
9	日		9	木		
10	月		10	金		
11	火		11	土		
12	水		12	日		
13	木		13	月		
14	金		14	火		
15	土	全国交流登山(福島)	15	水		
16	日	〃	16	木		
17	月		17	金		
18	火	全国三役会	18	土		
19	水		19	日		
20	木	県連理事会	20	月		
21	金		21	火		
22	土		22	水		
23	日		23	木		
24	月		24	金		
25	火		25	土		
26	水		26	日		
27	木	全国理事会	27	月		
28	金		28	火		
29	土		29	水		
30	日		30	木		「ちばニュース」交流会
			31	金		

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで